

# 常時・非常時活用 地域における面的なみまもりを実現

小規模／大規模 福祉

## 技術/サービス概要

### 実現する地域社会のイメージ

- Wi-Fiセンシングを活用して、プライバシーに配慮した形で、地域における面的な新しいみまもり体制を構築
- 24時間365日見える化により、孤独死の放置や、民生委員等の担い手不足等の課題に対応して、自治体や地域関係者の負担を軽減
- また、高齢者本人と離れて暮らす家族の安心や結（つながり）を深めることに貢献
- 家族や地域関係者、行政等の負担を軽減して、高齢者本人が住み慣れた地域にいつまでも元気で笑顔に満ちた暮らしができる社会を実現



## 技術/サービス情報

サービス分野（大）	福祉
サービス分野（小）	遠隔見守り
サービス購入者	自治体、島民
サービスの概要	Wi-Fiセンシング機器を高齢者全世帯に設置して、24時間365日「見える化」することにより、家族や地域関係者、行政等のみまもり等に係る負担を軽減可能にする、地域における面的な新しいみまもり体制を構築
サービス利用（受益）者	自治体、島民等

サービスにより期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢化社会における地域の面的なみまもり体制</li> <li>• 常時・非常時（災害）活用フェーズフリーのみまもり</li> <li>• 自治体負担や地域関係者の負担軽減</li> </ul>
サービスの特性・優位性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プライバシーに配慮した形で、高精度な検知が可能</li> <li>• 世界標準ITのため、安価にて機器の提供等が可能</li> <li>• 非常時の在不在確認が可能</li> </ul>
対応可能な地理特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通信環境（Wi-Fi環境）がある地域</li> </ul>

# 常時・非常時活用 地域における面的なみまもりを実現

小規模／大規模

福祉

税別価格（参考）	イニシャル	ランニング（月額）	
「みまもりサービス」にはインターネット通信料を含まない。必要に応じて、弊社にてルーターと通信用SIMを用意し、インターネット通信環境を整備することが可能（通信用SIM3GB/300～500円、ルーター本体別途） 月額ランニング費用は、規模により要相談	みまもりサービス	9,800円	500円
	初期登録費等	9,260円	—
	計	19,060円	500円

※上記金額は、1名あたりの単価。機器設置はDIYを想定。現地設置工事が必要な場合は別途費用発生。

### サポート体制 および関係者（導入時・導入後）

### 24時間365日「見える化」が、〈結〉を深めるきっかけに

毎日の電話で「調子はどう？」「よく寝れてる？」と聴いても、親は「大丈夫だよ」と心配させないように答えるだけ。24時間365日「見える化」で、「一昨日はどうして眠れなかったの？」などコミュニケーションが弾んでいきます。

日々の状況を確認できるから 話のきっかけ・交流が活発になります。

企業情報	
事業者名	株式会社おきでんCplusC
所在地	沖縄県宜野湾市宇地泊3丁目7番1号 宜野湾ベイサイド情報センター 4階
設立年	2021年
URL	<a href="https://www.cplusc.co.jp/">https://www.cplusc.co.jp/</a>
問い合わせ先	TEL：098-870-9610 ※HPの問い合わせフォームからでも受付可

# 常時・非常時活用 地域における面的なみまもりを実現

小規模／大規模

福祉

## 技術/サービスの導入実績

離島での導入事例

沖縄県内市町村／16自治体  
内、離島4自治体（石垣市、伊江村、粟国村、渡嘉敷村）  
（人口）-

- ・沖縄県内14自治体で実証試験実施（2021年～2022年）
- ・沖縄県事業にて、5自治体（国頭・大宜味・東・伊江・石垣）でサービス提供中
- ・名護スマートシティコンソーシアムにて、実証試験実施中
- ・島嶼自治体にて令和7年度予算化に向けトライアル中



導入自治体・利用者からの声

- ・令和5年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業における自治体・地域関係者向けアンケートにおいて、「大変満足31%」「満足46%」「普通23%」であり、7割以上から満足の評価。「不満」の回答はなし。
- ・自治体参加の背景については、「高齢者みまもり等の業務負担増加」、「高齢者の孤独死発生に対する不安」、「地域における急速な高齢化」、「地域で暮らす高齢者・家族からの不安の声」等が挙がる。
- ・また、実施後の感想については、「導入の手間が少ない」、「高齢者本人や家族からの安心したとの声あり」、「事業運営が良好」等、満足の声が多数。
- ・日常の高齢者みまもりの仕組みが、非常時（災害時等）にも活用できることから、目的別に複数のシステム導入の必要がなくなった。機器等が安価なため、面的な整備が可能。更に、自助主体のみまもり体制構築がコンセプトのため、公的負担軽減への期待が非常に大きい。

離島での導入実績  
（全国での実績）

4自治体（全国：16自治体）